

# ESMPRO/ServerManager 拡張機能概要

2024年8月16日 日本電気株式会社

## 目次

目岩	ک		2
商標	票につ	いて	3
ごご	È意		3
1.	まえ	がき	4
2.	課題	と解決	5
3.	拡張	機能の概要	6
3	.1	[まとめて設定]機能 - 複数の機器の設定・管理ソフトウェアを一括設定	6
3	.2	イベントトリガーアクション機能 - 迅速な障害情報の通知/共有	8
3	.3	クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス機能 - サーバの稼働状況を診断	9
4.	拡張	機能利用に必要な準備	11
4	.1	拡張機能の製品体系	11
4	.2	拡張機能の導入の流れ	12
	4.2.1	. (1)ESMPRO/ServerManager Ver.7 をインストールする	12
	4.2.2	? (2)各機能で必要なソフトウェアをインストールする	13
	4.2.3	3 (3)ESMPRO/ServerManager Ver.7 にサーバを登録する	14
	4.2.4	(4)ESMPRO/ServerManager Ver.7 に拡張機能ライセンスを登録する	15
5.	拡張	機能利用手順	16
5	.1	[まとめて設定]	16
	5.1.1	. 例① サーバの設定を一括で変更する	16
	5.1.2	? 例② サーバの設定済みの設定を他サーバの設定に反映する	23
	5.1.3	3 例③ 無停電電源装置 UPS の設定を一括で変更する	30
5	.2	イベントトリガーアクション	36
	5.2.1	. 例① ESMPRO/ServerManager が受信したアラートをメール通報する	36
	5.2.2	2 例② ESMPRO/ServerManager が受信したアラートを Microsoft Teams 通報する	40
5	.3	クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス	44
	5.3.1	. 例① 1か月分のサーバ診断カルテを作成する	44
6.	便利	な使い方	59
7.	改版	履歴	60



## 商標について

EXPRESSBUILDER と ESMPRO、WebSAM は日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登 録商標または商標です。

VMware is a registered trademark or trademark of Broadcom in the United States and other countries. The term "Broadcom" refers to Broadcom Inc. and/or its subsidiaries.

記載の会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

なお、特にTM、®は明記しておりません。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名 とは一切関係ありません。

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- 運用した結果の影響については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各ソフトウェアのバージョンは 2024 年 8 月 16 日現在のものです。



## 1. まえがき

本書は Express5800 サーバ標準添付 ESMPRO/ServerManager Ver.7 に有償提供される拡張機能の概要につ いて記載したドキュメントです。サーバ管理者は拡張機能を利用することで Express5800 サーバの管理を効 率化的に行うことが可能になります。本書をご利用頂くことで拡張機能(ESMPRO/ServerManager 拡張ライ センス)のご理解のお手伝いになれば幸いです。

ソフトウェア	バージョン
ESMPRO Platform Management kit(*1)(*2)(*3)	1.006.01
ESMPRO/ServerManager(*4)	7.23

- (\*1)拡張機能を利用する為には ESMPRO Platform Management Kit からライセンス解除が必要です(4.2.4 ( 4 ) ESMPRO/ServerManager Ver.7 に拡張機能ライセンスを登録する参照)。
- (\*2)ESMPRO Platform Management Kit には ESMPRO/AutomaticRunningController、WebSAM AlertManager、 WebSAM iStorageManager が同梱されており、統合インストーラーを利用することで、一括してインストールが可 能です。各製品を利用するには各製品の利用ライセンスの購入が必要です。
- (\*3)2024 年 8 月時点の最新版は 「UL1599-401 ESMPRO Platform Management Kit V1.006(媒体)」です。製品の最新 情報は NEC サイト(https://jpn.nec.com/esmsm/kakaku.html?#tag\_kit)を参照してください。 また ESMPRO Platform Management Kit は無償版も公開されており、 NEC サイト(https://jpn.nec.com/esmsm/download.html)からダウンロードすることもできます。
- (\*4)ESMPRO/ServerManager は ESMPRO Platform Management Kit に含まれています。ただし、最新化の為に個別ダ ウンロード(本書の 4.2.1(1)ESMPRO/ServerManager Ver.7 をインストールする参照)し、アップデートすること をお勧めします。



## 2. 課題と解決

サーバのライフサイクルを考えるとき

- ①調達→②導入(設定)→③運用・保守→④廃棄
- という流れになり、サーバ管理の視点では②導入(設定)③運用・保守が主な作業となります。
- ②導入(設定)は多くの場合、
  - (ア) 通常複数台サーバを設定することになる。
  - (イ) 個々のサーバに類似した設定を実施する必要がある。

となり、導入するサーバ台数・設定項目数が増えるだけ対応工数が増大する為、スクリプト等による設定の 自動化が必要とされます。

③運用・保守ではサーバのヘルス状態を常時確認することで、業務停止時間を最小限に抑える必要があり、 運用/保守チームへの迅速な情報通知/チーム内での情報共有がダウンタイム最小化のキーとなります。

ESMPRO/ServerManager ver.7 の拡張機能では、②導入(設定)の効率化に向けて[まとめて設定](\*1)を提供し ています。本機能にて、事前に用意した簡単な XML ファイルで複数台のサーバに設定を行うことが可能とな ります。また、XML の一部を変更することで、類似した設定の他サーバへの展開も可能です。本機能を利用 することで管理者はネットワーク経由で複数台サーバに設定、類似した設定の他サーバへの展開が可能とな り、システム導入(設定)の効率化を行えます。

③運用・保守の効率化に向けては「イベントトリガーアクション機能」、「クローズド環境向けサーバ診断カ ルテサービス機能 | を提供しています。

「イベントトリガーアクション機能」では、サーバで発生したイベントを契機に電子メール送信・Microsoft Teams への投稿が可能です。障害イベントが発生した場合に、運用/保守チームの電子メールや Teams の共 有チャネルへ投稿を行うことで情報共有がリアルタイムに行え、迅速な対応が可能となります。

「クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス機能」では、蓄積したサーバのログから、状況を確認した い期間のサーバ診断カルテ(PDF形式)(\*2)を随時作成することが可能です。サーバ診断カルテではディスク 使用率、OS 更新プログラムの適用状態、サーバの稼働状況に応じた総合診断コメントなどを簡単に確認で き、早期対策の実施や、リソース/セキュリティ管理などの IT システムの運用管理に活用いただけます。

(\*1)本ガイドでは、まとめて設定機能を[まとめて設定]と記載します。

(\*2)本ガイドでは、クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス機能で提供されるレポートをサーバ診断カルテと記載 します。



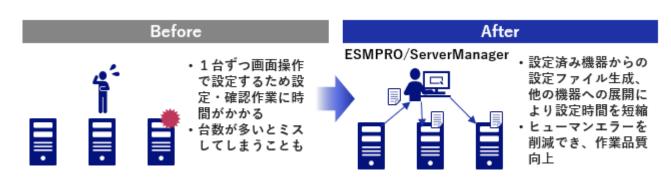
## 3. 拡張機能の概要

以下の拡張機能の概要について説明します。

- 1. [まとめて設定]機能
- 2. イベントトリガーアクション機能
- 3. クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス機能

## 3.1 [まとめて設定]機能 - 複数の機器の設定・管理ソフトウェアを一括設定 -

本機能ではあらかじめ作成した XML 形式のファイルを ESMPRO/ServerManager ver.7 から各サーバに配布することで、各種設定を行います。また、現状の設定を XML 形式のファイルで吸い上げることも可能であり、必要な箇所だけを簡単に変更することもできます。標準的な XML 形式のファイルのひな形は ESMPROの Web サイト(https://jpn.nec.com/esmsm/download.html?#template)で公開しています。



2024年3月現在、以下の設定を ESMRPO/ServerManager から XML 形式のファイルで実行できます。 詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver.7 セットアップガイド 第19章 [まとめて設定]を使用して管理対象の設定を行う」を参照してください。

3. ウロス ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
設定対象	主な設定項目	
ESMPRO/ServerAgentService(Windows)Ver2.3~(*1)	通報手段(TCP/IP、SNMP、CIM-Indication)	
ESMPRO/ServerAgent(Windows) Ver4.6f $\sim$ (*1)	通報先(通報先のホスト名/IP アドレス/ポート番号)	
	通報対象イベントログ	
ESMPRO/ServerAgentService(Windows) Ver1.0~(*1)	CPU 負荷監視(有効/無効、しきい値、等)	
ESMPRO/ServerAgentService(Linux) Ver1.0~(*1)	メモリ使用量監視(有効/無効、しきい値、等) (*2)	
	ファイルシステム空き容量監視	
	S,M,A,R,T 監視(有効/無効)	
ESMPRO/AutomaticRunningController Ver.5.41~(*3)	通信設定(端末(サーバ)の MAC アドレス/IP アドレス/ネット	
	マスク/SNMP/MagicPacket WakeUp の設定 等)	
	統計情報(出力電圧、入力電圧等)の収集間隔	
	端末(サーバ)情報(停電時のシャットダウン開始待ち時間 等)	
	仮想マシン設定(起動・停止時の順序の設定、シャットダウン	
	開始待ち時間 等)	
無停電電源装置(UPS)	停電発生時から稼働できる時間	
(ESMPRO/AutomaticRunningController Ver.5,41 $\sim$ (*3)	出力電圧の異常・警告 を判別する閾値	
経由で設定)	温度が異常・警告を判別する閾値	
	異常発生時のブザーを鳴らす条件 等	

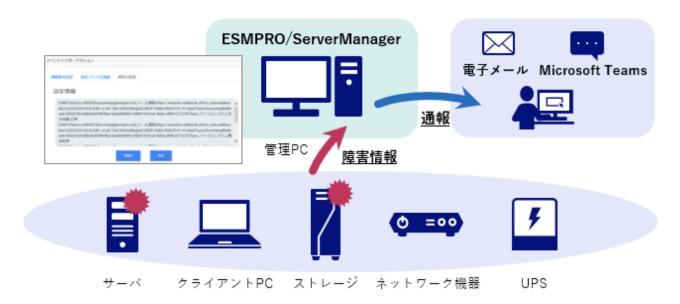
- (\*1)ESMPRO/ServerAgent、ESMPRO/ServerAgentService はサーバに添付している EXPRESSBUILDER から、もしくは、Web サイト(https://jpn.nec.com/esmsm/download.html?#sm\_ver7)から入手してください。
- (\*2)メモリ使用量監視の設定は ESMPRO/ServerAgentService(Windows) Ver1.2~となります。
- (\*3)ESMPRO/AutomaticRunningController の設定を行う為には ESMPRO Platform Management kit(UL1599-301)に 同梱されている ESMPRO/AutomaticRunningController もしくは、

UL1046-P01 ESMPRO/AutomaticRunningController が ESMPRO/ServerManager をインストールしたサーバにインストールされており、ESMPRO/AutomaticRunningController のライセンスが有効化されている必要があります。



### 3.2 イベントトリガーアクション機能 - 迅速な障害情報の通知/共有 -

本機能で指定した OS にイベントログへ登録・ESMPRO が HW インベントを検出したことを契機に、あらかじめ設定した通知先へ電子メールによる通知、および Microsoft Teams の指定チャネルへ通知を行います。 (\*1)(\*2)



通知対象となるイベントの指定や通知先の指定等は予め作成した CSV 形式のファイルを ESMPRO/ServerManager にアップロードすることで、一括設定することが可能です。また、設定ファイル のサンプルは <ESMPRO/ServerManager のインストールフォルダ>ESMSM>tool>に格納されていますので ご利用下さい。

詳細は「ESMPRO/ServerManager Ver.7 セットアップガイド 第 18 章 イベントトリガーアクションのセットアップ」を参照してください。

- (\*1)機能を利用する為には ESMPRO Platform Management kit(UL1599-301)に同梱されている WebSAM AlertManager もしくは UL1032-D03 WebSAM AlertManager Ver4.3 が ESMPRO/ServerManager をインストールしたサーバに インストールされている必要があります。
- (\*2)ESMPRO Platform Management kit(UL1599-301)に同梱されている WebSAM AlertManager のイベントトリガー アクション以外の機能を利用する為には、別途 UL1032-D05 WebSAM AlertManager Ver4.3 ライセンス(ESMPRO Platform Management Kit 用)にてライセンスの有効化が必要です。

#### 3.3 クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス機能 - サーバの稼働状況を診断 -

インターネット非接続環境で運用されるサーバのログを収集/分析し、稼働状況に応じた診断コメント付きのサーバ診断カルテを提供します。



#### ■ 特長

- ・ ESMPRO/ServerManager でアップロード専用ファイルを作成し、NEC サイト上でカルテ作成
- ・ インターネット非接続サーバのカルテを作成可能
- ・ 状況確認したい期間のカルテを随時作成可能
- ・ 複数台サーバのカルテを一括作成可能

#### ■ 使用方法の概要

ESMPRO/ServerManager でサーバからカルテ作成に必要なデータを取得し ESMPRO/ServerManager 上に蓄積させます。データ蓄積後、カルテ作成を行うサーバやカルテ作成対象期間などを指定し、アップロード専用ファイルを作成します。

お客様が手動でアップロード専用ファイルを NEC サイトにアップロード後、サーバ診断カルテが作成されます(\*2)。カルテ作成完了時にお客様に送信される完了通知メール(\*3)に記載される NEC サイトの URL より、サーバ診断カルテファイル(\*4)をダウンロードします(\*5)。サーバ診断カルテファイルを解凍し、サーバ診断カルテを確認します。

- (\*1)暗号化されたファイルが作成されます。
- (\*2)通常 24 時間以内に作成されます。
- (\*3)ESMPRO/ServerManager上で通知先のメールアドレスを設定します。
- (\*4)作成されたサーバ診断カルテがまとめて格納されている ZIP 形式のファイル。
- (\*5)ダウンロード可能期間は1週間です。



#### ■ 主な表示内容

本機能で作成されるサーバ診断カルテの主な表示内容は以下の通りです。

● CPU 使用率

● メモリ使用率

● ディスク使用率、I/O

● ハードウェア構成情報

● 温度

● ネットワーク通信状況

● ソフトウェア構成情報

● 適用ドライバ情報

● 更新プログラム情報

利用方法、表示内容の詳細は「ESMPRO/ServerManager Ver.7 セットアップガイド 第 20 章 クローズド環 境向けサーバ診断カルテサービスのセットアップ」を参照してください。

※本機能は既存のサーバ診断カルテサービス(https://jpn.nec.com/pcserver/support/karte.html)で提供される サーバ診断カルテと同等の情報を提供します。

#### ■ 使用条件

本機能を使用するには、

- · ESMPRO/ServerManager 拡張機能 マネージャライセンス
- 管理対象機器台数に応じた ESMPRO/ServerManager 拡張機能 ノードライセンス
- ・ ESMPRO/ServerManager 拡張機能 マネージャライセンスの PP・サポートサービス保守契約
- · ESMPRO/ServerManager 拡張機能 ノードライセンスの PP・サポートサービス保守契約
- ・ ESMPRO/ServerManager クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス機能 利用規約への同意 が必要になります。

ライセンスの詳細は「ESMPRO/ServerManager Ver.7 インストレーションガイド」を参照してください。

※本機能はサーバ診断カルテサービスと同時に利用することはできません。

#### ■ 主な対象機器

- Express5800/100 シリーズ
- iStorage NS シリーズ

#### ■ 対象 OS

本機能では運用 OS が Windows、ESXi、ESXi 上の Windows(仮想マシン)のサーバに対してサーバ診 断カルテを作成できます。

本機能の対象サーバは以下サイトの対象機器欄に記載された機種となります。

· 運用 OS が Windows の場合:

サーバ診断カルテ (Windows 対応版)

https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010106809

運用 OS が ESXi、ESXi 上の Windows(仮想マシン)の場合:

サーバ診断カルテ (VMware ESXi 対応版)

https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010107805



## 4. 拡張機能利用に必要な準備

#### 4.1 拡張機能の製品体系

本機能を利用する為には、拡張機能ライセンスによる有効化(\*1)が必要です。

拡張機能ライセンスは ESMPRO/ServerManager をインストールしたサーバ向けの

「ESMPRO/ServerManager 拡張機能マネージャライセンス」と、管理対象となるサーバの台数分(\*2)の「ESMPRO/ServerManager 拡張機能ノードライセンス」が必要です。

また、購入後に本機能のサポートを受ける為には、サポートパック/契約保守の購入が必要です。詳細は Web サイト(https://jpn.nec.com/esmsm/kakaku.html)を参照してください。

- (\*1) ライセンスの有効化は全て ESMPRO Platform Management Kit に同梱しているライセンス・バージョン管理ツールから可能です。
- (\*2)ESMPRO/ServerManager に登録した管理対象サーバ(UPS/ネットワーク機器/その他コンピュータ機器/アラート受信のみ管理の台数は含まない)の台数分のライセンスが必要です。

(\*)表示価格は税別(円)

型番	品名	希望小売価格	月額標準サポート料金
UL1636-001	ESMPRO/ServerManager 拡張機能	100,000	1,150
	マネージャライセンス		
UL1636-002	ESMPRO/ServerManager 拡張機能	25,000	1,150
	1ノードライセンス		
UL1636-003	ESMPRO/ServerManager 拡張機能	125,000	5,800
	5ノードライセンス		
UL1636-004	ESMPRO/ServerManager 拡張機能	400,000	18,400
	20 ノードライセンス		
UL1636-005	ESMPRO/ServerManager 拡張機能	1,000,000	46,000
	無制限ノードライセンス		

ESMPRO/ServerManager Ver.7 の拡張機能は、今後も機能追加を予定していますが、アップデートされたモジュールを Web サイトからダウンロードすることで、追加された機能を無償で利用することができます。アップデート毎に拡張ライセンスを再購入いただく必要はありません。



#### 4.2 拡張機能の導入の流れ

拡張機能の導入は、以下の流れで実施します。

(1) ESMPRO/ServerManager Ver.7 をインストールする

(2) 各機能で必要なソフトウェアをインストールする

(3) ESMPRO/ServerManager Ver.7 にサーバを登録する

(4) ESMPRO/ServerManager Ver.7 に拡張機能ライセンスを登録する

以下、各手順の概要を説明します。

#### (1) ESMPRO/ServerManager Ver.7 をインストールする

ESMPRO/ServerManager Ver.7 は ESMPRO Platform Management Kit に含まれており、同製品を利用して 以下のいずれかの方法でインストールできます。

- ・ESMPRO Platform Management Kit を使用した統合インストール
- ・ESMPRO Platform Management Kit を使用した個別インストール





また、ESMPRO/ServerManager Ver.7 は個別でも NEC サイト(https://jpn.nec.com/esmsm/download.html) に Web 公開されており、以下の方法でインストールできます。

・個別に ESMPRO/ServerManager Ver.7 をダウンロードしインストール

インストール手順の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 インストレーションガイド 2 章インストー ル を参照してください。



#### 4.2.2 (2) 各機能で必要なソフトウェアをインストールする

利用する機能に応じて、ESMPRO/ServerManager と同じ装置もしくは管理対象機器にソフトウェアのインストールが必要となります。ご利用になる機能に合わせてインストールを行ってください。

機能	対象	必要なソフトウェア	備考
[まとめて	AC Management Console で電源管理設定	ESMPRO/ServerManager と同じ装置に	(*3)
設定]	を行った Express サーバや無停電装置	ESMPRO/AutomaticRunningController	
	(UPS) を設定する場合	Ver5.41 以降および、ESMPRO/AC	
		Enterprise Ver5.41 以降が必要	
	管理対象機器の	管理対象機器に	(*4)
	ESMPRO/ServerAgentService(Windows)	ESMPRO/ServerAgentService、	
	や ESMPRO/ServerAgent(Windows)の	ESMPRO/ServerAgentの通報モジュール	
	通報設定を行う場合	(アラートマネージャ)Ver6.03 以降が必要	
イベントト	メール通報、Microsoft Teams 通報を行う	ESMPRO/ServerManager と同じ装置に	(*5)
リガーアク	場合	WebSAM AlertManager Ver4.3 以降が必要	
ション		(*1)(*2)	
クローズド	Windows サーバのサーバ診断カルテを作	管理対象機器に「サーバ診断カルテ	(*6)
環境向け	成する場合	(Windows 対応版)」および	
サーバ診断		ESMPRO/ServerAgentService	
カルテサー		Ver.2.0 以降が必要	
ビス	VMware ESXi サーバ、VMware ESXi サー	ESMPRO/ServerManager と同じ装置に	(*7)
	バ上の Windows(仮想マシン)のサーバ診	「サーバ診断カルテ(VMware ESXi 対応	
	断カルテを作成する場合	版)」が必要。	
		管理対象機器(仮想マシン)に「サーバ診断	
		カルテ for GuestOS」が必要。	

- (\*1) WebSAM AlertManager のライセンスは不要です。
- (\*2) メール通報を使用するには、別途、SMTPプロトコルに対応するメールサーバが必要です。
- (\*3) インストールについては、ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterprise のセットアップカードを参照してください。
- (\*4) 通報モジュール(アラートマネージャ)のアップデートについては、以下のサイトを参照してください。 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102682
- (\*5) インストールについては「WebSAM AlertManager セットアップカード」を参照してください。
- (\*6) インストールについては「サーバ診断カルテ セットアップガイド(Windows 編)」を参照してください。 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010106809
- (\*7) インストールについては「サーバ診断カルテ セットアップガイド(VMware ESXi 編)」を参照してください。 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010107805



#### (3) ESMPRO/ServerManager Ver.7 にサーバを登録する 4.2.3

拡張機能の対象となる管理対象サーバを ESMPRO/ServerManager Ver.7 に登録します。



ESMPRO/ServerManager に管理対象サーバを登録するには、自動登録と手動登録の 2 通りの方法があり ます。

- 自動登録は IP アドレスの範囲またはネットワークアドレスを指定して、見つかった管理対象サーバを自 動的に登録する方法です。
- 手動登録はコンポーネント名、OSIP アドレス等の項目を全て手動で設定して管理対象サーバを登録する 方法です。





登録方法の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド」を参照してください。



#### 4.2.4 (4) ESMPRO/ServerManager Ver.7 に拡張機能ライセンスを登録する

ESMPRO/ServerManager Ver.7 への拡張機能ライセンスの登録は ESMPRO Platform Management Kit に同 梱されているライセンス・バージョン管理ツールから行います。



ライセンス・バージョン管理ツールは以下のいずれかの方法でインストールできます。

- ESMPRO Platform Management Kit の統合インストールメニューから ESMPRO/ServerManager 等のソ フトウェアをインストールすると自動的にインストールされます。
- ESMPRO Platform Management Kit の各種アプリケーションメニューから個別にインストールします。

ライセンス・バージョン管理ツールのインストールや起動方法などの詳細については「ESMPRO インストー ルツール ユーザーズガイド を参照してください。

ライセンス・バージョン管理ツールのインストール後、ライセンス・バージョン管理画面を起動し、 ESMPRO/ServerManager 拡張機能 マネージャライセンスキーおよび、管理対象サーバ台数に応じた ESMPRO/ServerManager 拡張機能 ノードライセンスキーを登録します。

拡張機能ライセンスの登録手順の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 インストレーションガイド 1 章概要 4.1 インポート手順」を参照してください。



## 5. 拡張機能利用手順

[まとめて設定]とイベントトリガーアクションの利用手順についての概要を説明します。詳細な説明や操作 については、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド」を参照してください。

#### 5.1 「まとめて設定」

[まとめて設定]の利用方法として、以下の例について例示します。

- 例① サーバの設定を一括で変更する
- 例② サーバの設定済みの設定を他サーバの設定に反映する
- 例③ 無停電電源装置 UPS の設定を一括で変更する

概要を以下に説明します。

#### 5.1.1 例① サーバの設定を一括で変更する

ESMPRO/ServerAgentService(Windows)のリソース監視設定を設定ファイルで一括変更する

ここでは例として新規に設定ファイルを作成し、設定ファイルを使用して一括で変更する手順を説明します。 手順の流れは以下のとおりです。

(1)設定ファイルの編集

- (2)設定ファイルの追加
- (3)設定ファイルの適用

(4) 設定値が正しく登録されたことの確認

#### (1)設定ファイルの編集

ESMPRO/ServerManager のインストールフォルダに格納されている設定ファイルのサンプルファイルを元 に設定ファイルの編集を行います。

サンプルファイルの格納先は以下です。

#### 【格納先】

<ESMPRO/ServerManager インストールフォルダ>¥ESMSM¥tool

ファイル名:GatherSettingTemplate.XML

※<ESMPRO/ServerManager インストールフォルダ>が不明な場合は、以下のレジストリをご確認ください。

+-: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\WOW6432Node\NEC\ESMWEB

バリュー: PathName(REG\_SZ)

上記のサンプルファイルを作業用フォルダにコピーし、任意の設定ファイル名に変更します(例: CPUSetting.XML)。

設定ファイルをテキストエディタ等で開き、ESMPRO/ServerAgentService(Windows)のリソース監視設定 に該当する箇所を編集します。



例として、コンポーネント名をそれぞれ「Server1」、「Server2」として登録したサーバの ESMPRO/ServerAgentService の CPU 負荷監視の設定変更を行います。

例として各サーバの Total CPU(CPU 全体)の負荷率の監視設定を以下のように設定します。

[要素]

<CPUPerf > - <CPUInfo>

パラメータ名	設定項目	設定値
Index	CPU の Index。	0:Total CPU 負荷率(サンプルファイル
	監視対象の CPU を指定します。	から変更なし)
	0 は Total の負荷率です。	
Monitoring	CPU の監視有効/無効	1:有効
FatalThreshold	CPU <index>の異常しきい値(%)</index>	100 (サンプルファイルから変更なし)
FatalReset	CPU <index>の異常開放値(%)</index>	95
WarningThreshold	CPU <index>の警告しきい値(%)</index>	90
WarningReset	CPU <index>の警告開放値(%)</index>	85

各設定項目の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 19 章 [まとめて設定]を使 用して管理対象機器の設定を行う 19.4 設定ファイルの編集」を参照してください。

#### 【編集例】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ESMPRO>
 <!-- Server1 -->
 <Component name="Server1">
   <ESMAgent>
    <CPUPerf>
      <CPUInfo>
         <param name="Index" value="0" />
         <param name="Monitoring" value="1" />
         <param name="FatalThreshold" value="100" />
         <param name="FatalReset" value="95" />
         <param name="WarningThreshold" value="90" />
         <param name="WarningReset" value="85" />
      </CPUInfo>
    </CPUPerf>
   </ESMAgent>
 </Component>
 <!-- Server2 -->
 <Component name ="Server2">
   <ESMAgent>
    <CPUPerf>
      <CPUInfo>
         <param name="Index" value="0" />
         <param name="Monitoring" value="1" />
         <param name="FatalThreshold" value="100" />
         <param name="FatalReset" value="95" />
         <param name="WarningThreshold" value="90" />
         <param name="WarningReset" value="85" />
      </CPUInfo>
    </CPUPerf>
   </ESMAgent>
 </Component>
</ESMPRO>
```



#### (2) 設定ファイルの追加

上記手順で編集した設定ファイルを ESMPRO/ServerManager に追加します。



追加手順の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 19 章 [まとめて設定]を使用 して管理対象機器の設定を行う 19.5 設定ファイルの追加」を参照してください。

#### (3) 設定ファイルの適用

ESMPRO/ServerManager に追加した設定ファイルを[まとめて設定]を行うサーバに適用します。



適用手順の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第19章 [まとめて設定]を使用 して管理対象機器の設定を行う 19.6 設定ファイルの適用」を参照してください。

#### (4) 設定値が正しく登録されたことの確認

適用後、設定が正しく適用されているか確認します。例として、サーバの設定値をダウンロードし、作成し た設定ファイルの設定値と比較して正しく適用されているか確認します。



設定ファイルのダウンロード手順の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 19 章 [まとめて設定]を使用して管理対象機器の設定を行う 19.3 設定ファイルのダウンロード | を参照してくだ さい。

ダウンロードしたファイルを開き、ESMPRO/ServerAgentService の CPU 負荷監視の設定箇所を確認しま す。



#### [Server1]のサーバの設定の該当箇所抜粋

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ESMPRO>
 <Component name="Server1">
   <ESMAgent>
    <CPUPerf>
      <param name="Interval" value="10" />
      <param name="Target" value="60" />
      <CPUInfo>
        <param name="Index" value="0" />
        <param name="Monitoring" value="1" />
        <param name="FatalThreshold" value="100" />
        <param name="FatalReset" value="95" />
        <param name="WarningThreshold" value="90" />
        <param name="WarningReset" value="85" />
      </CPUInfo>
      <CPUInfo>
        <param name="Index" value="1" />
        <param name="Monitoring" value="0" />
        <param name="FatalThreshold" value="100" />
        <param name="FatalReset" value="97" />
        <param name="WarningThreshold" value="95" />
        <param name="WarningReset" value="92" />
      </CPUInfo>
      <CPUInfo>
        <param name="Index" value="2" />
        <param name="Monitoring" value="0" />
        <param name="FatalThreshold" value="100" />
        <param name="FatalReset" value="97" />
        <param name="WarningThreshold" value="95" />
        <param name="WarningReset" value="92" />
      </CPUInfo>
```

作成した設定ファイルの設定値と同じであることを確認します。上記の例では、赤字で記載した箇所が設定 ファイルの設定値と同じであることが確認できます。



#### 5.1.2 例② サーバの設定済みの設定を他サーバの設定に反映する

サーバAの ESMPRO/ServerAgentService(Windows)のリソース監視設定を、サーバ B、サーバ C の設定に 反映する

ここでは例として、「Server1」として登録したサーバにインストールされた ESMPRO/ServerAgentService の CPU 負荷監視設定のうち、Total CPU(CPU 全体)の負荷率の設定を「Server2」、「Server3」として登録したサーバの設定に反映する設定を行います。

手順の流れは以下のとおりです。

(1)設定ファイルのダウンロード

Û

(2) 設定ファイルの編集

Û

(3) 設定ファイルの追加

Û

(4) 設定ファイルの適用

Û

(5) 設定値が正しく登録されたことの確認

#### (1) 設定ファイルのダウンロード

[まとめて設定]で「Server1」の設定をダウンロードし、ローカルへ設定ファイルを保存します。



ダウンロード手順の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 19 章 〔まとめて設 定]を使用して管理対象機器の設定を行う 19.5 設定ファイルのダウンロード | を参照してください。

ダウンロードした設定ファイルを開くと、現在の「Server1」の設定値を確認できます。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ESMPRO>
 <Component name="Server1">
   <ESMAgent>
    <CPUPerf>
      <param name="Interval" value="10" />
      <param name="Target" value="60" />
      <CPUInfo>
        <param name="Index" value="0" />
        <param name="Monitoring" value="1" />
        <param name="FatalThreshold" value="100" />
        <param name="FatalReset" value="95" />
        <param name="WarningThreshold" value="90" />
        <param name="WarningReset" value="85" />
      </CPUInfo>
      <CPUInfo>
        <param name="Index" value="1" />
        <param name="Monitoring" value="0" />
        <param name="FatalThreshold" value="100" />
        <param name="FatalReset" value="97" />
        <param name="WarningThreshold" value="95" />
        <param name="WarningReset" value="92" />
      </CPUInfo>
```

#### (2) 設定ファイルの編集

ダウンロードした設定ファイルを作業用フォルダにコピーし、任意の設定ファイル名に変更します(例: CPUSetting123.XML)。

設定ファイルをテキストエディタ等で開き、「Server1」の Total CPU(CPU 全体)の負荷率の設定箇所を抜き 出し「Server2」、「Server3」に設定するように編集します。

各設定項目の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 19 章 [まとめて設 定]を使用して管理対象機器の設定を行う 19.4 設定ファイルの編集 | を参照してください。



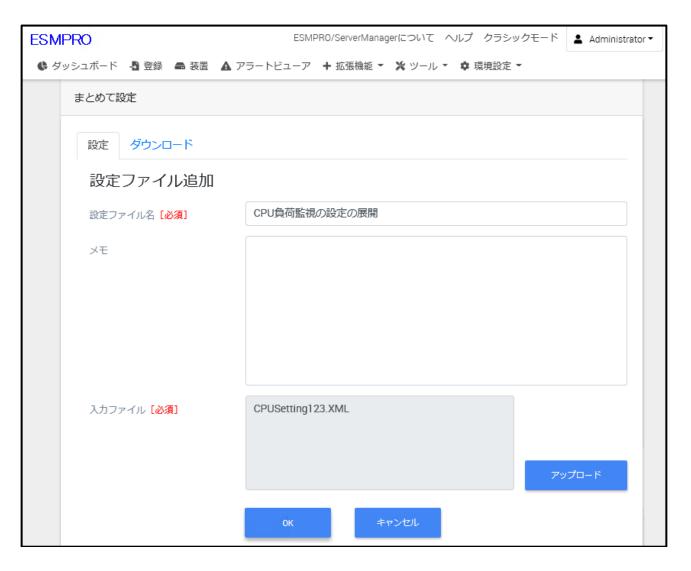
#### 【編集例】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ESMPRO>
 <Component name="Server2">
   <ESMAgent>
    <CPUPerf>
      <param name="Interval" value="10" />
      <param name="Target" value="60" />
      <CPUInfo>
         <param name="Index" value="0" />
         <param name="Monitoring" value="1" />
         <param name="FatalThreshold" value="100" />
         <param name="FatalReset" value="95" />
         <param name="WarningThreshold" value="90" />
         <param name="WarningReset" value="85" />
      </CPUInfo>
    </CPUPerf>
   </ESMAgent>
 </Component>
 <Component name="Server3">
   <ESMAgent>
    <CPUPerf>
      <param name="Interval" value="10" />
      <param name="Target" value="60" />
      <CPUInfo>
         <param name="Index" value="0" />
         <param name="Monitoring" value="1" />
         <param name="FatalThreshold" value="100" />
         <param name="FatalReset" value="95" />
         <param name="WarningThreshold" value="90" />
         <param name="WarningReset" value="85" />
      </CPUInfo>
    </CPUPerf>
   </ESMAgent>
 </Component>
</ESMPRO>
```



#### (3) 設定ファイルの追加

上記手順で編集した設定ファイルを ESMPRO/ServerManager に追加します。



追加手順の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第19章 [まとめて設定]を使用 して管理対象機器の設定を行う 19.5 設定ファイルの追加」を参照してください。

#### (4) 設定ファイルの適用

ESMPRO/ServerManager に追加した設定ファイルを[まとめて設定]を行うサーバに適用します。



適用手順の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 19 章 [まとめて設定]を使用 して管理対象機器の設定を行う 19.6 設定ファイルの適用」を参照してください。

#### (5) 設定値が正しく登録されたことの確認

適用後、設定が正しく適用されているか確認します。例として、サーバの設定値をダウンロードし、作成し た設定ファイルの設定値と比較して正しく適用されているか確認します。



設定ファイルのダウンロード手順の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 19 章 [まとめて設定]を使用して管理対象機器の設定を行う 19.3 設定ファイルのダウンロード」を参照してくだ さい。

ダウンロードした「Server2」、「Server3」の設定ファイルを開き、各サーバの ESMPRO/ServerAgentService の CPU 負荷監視の設定箇所を確認します。



#### 5.1.3 例③ 無停電電源装置 UPS の設定を一括で変更する

ESMPRO/AutomaticRunningController(Windows) + ESMPRO/AC Enterprise に登録された複数の無停電電 源装置 UPS の設定を一括で変更する

ここでは例として新規に設定ファイルをダウンロードし、設定ファイルを編集して一括で UPS 装置の設定を 更新する手順を説明します。手順の流れは以下のとおりです。

なお、電源管理ソフトウェア「ESMPRO/AutomaticRunningController(Windows) + ESMPRO/AC Enterprise(Windows) | は以下で「ESMPRO/AC」に略します

- (1) 設定ファイルのダウンロード(XML 書き出し)
- (2) 設定ファイルの編集(UPS の設定を変更する)
- (3)設定ファイルの適用(XML 読み込み)
- (4)設定値が正しく登録されたことの確認

#### (1) 設定ファイルのダウンロード(XML 書き出し)

ESMPRO/AC の[まとめて設定]の「設定ファイルのダウンロード」は ESMPRO Platform Management Kit 中の「ESMPRO/ServerManager Ver.7 セットアップガイド」「18.3 設定ファイルのダウンロー ド」を参照してください。





#### (2) 設定ファイルの編集(UPS の設定を変更する)

ESMPO/AC の電源管理機能の[まとめて設定]における全タグ情報および要素情報(編集不可の情報を含 む)は別資料「ESMPRO Platform Management Kit [まとめて設定]「電源管理 XML 設定一覧」 (epmk\_ac\_xml.pdf)」は、以下の「各種資料」より入手してください。

https://jpn.nec.com/esmpro ac/ac download.html

本手順は上記資料の P.7「7. まとめて設定 XML 情報 < ESMPRO > < ESMPRO\_AC > < AMC\_TREE > <UPS> まとめて設定 XML 情報<ESMPRO><ESMPRO\_AC><AMC\_TREE><InterlockingUPS>」を 参照してください。

ダウンロードした設定ファイル(GetInformation.XML)をエディタ等で開きます。

【編集例】では無停電電源装置 UPS の<UPS>タグを編集について説明します。

【編集例】では「赤字」で以下の設定を変更しています。

設定(param)	設定内容	編集前(value)	編集後(value)
message	説明		編集しました
HighTransferVolt	許容電圧(上限)	108	110
HighTemp	バッテリ温度監視	45	40
LowBatteryRunTime	LowBattery 検出後の動作可能	120	180
	時間		
ShutoffDelay	電源切断猶予時間	180	120



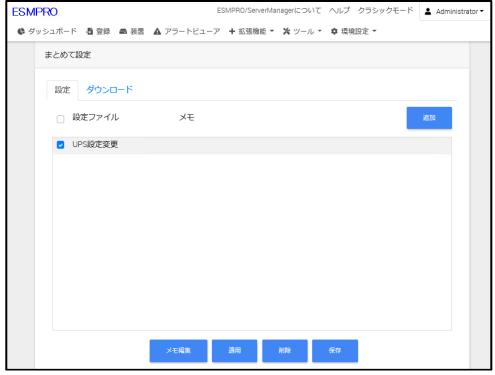
#### 【編集例】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ESMPRO>
 <ESMPRO AC>
   <AMC_TREE>
     <root>
      <!--param タグ内の value を編集できます-->
      <param name="GuiAutoTimer" value="120" />
中略
     <UPS>
      <!--param タグ内の value を編集できます-->
      <!--本タグは UPS_162 の情報です-->
      <param name="message" value="編集しました" />
      <param name="HighTransferVolt" value="110" />
      <param name="LowTransferVolt" value="92" />
      <param name="ConfigAlarm" value="1" />
      <param name="HighTemp" value="40" />
      <param name="LowTemp" value="0" />
      <param name="ConfigAlarmTimer" value="0" />
      <param name="MinReturnCapacity" value="0" />
      <param name="Sensitivity" value="4" />
      <param name="LowBatteryRunTime" value="180" />
      <param name="TestDiagnosticSchedule" value="2" />
      <param name="OutletControl" value="0" />
      <param name="PowerFailWatchTime" value="60" />
      <param name="AutoReturn" value="0" />
      <param name="AutoReturnSw" value="0" />
      <param name="WarmUpTime" value="0" />
      <param name="WarmUpNumber" value="1" />
      <param name="ShutoffDelay" value="120" />
      <param name="ReturnDelay" value="60" />
      <param name="MinReturnRuntime" value="0" />
      <!--id タグは編集しないでください-->
      <id>IDbc09d20cc65341fdb5bf91eb4bccd6d6</id>
     </UPS>
以下略
```

#### (3) 設定ファイルの適用(XML 読み込み)

ESMPRO/AC の[まとめて設定]の「設定ファイルの適用」は ESMPRO Platform Management Kit 中 の「ESMPRO/ServerManager Ver.7 セットアップガイド」「18.6 設定ファイルの適用」を参照してく ださい。





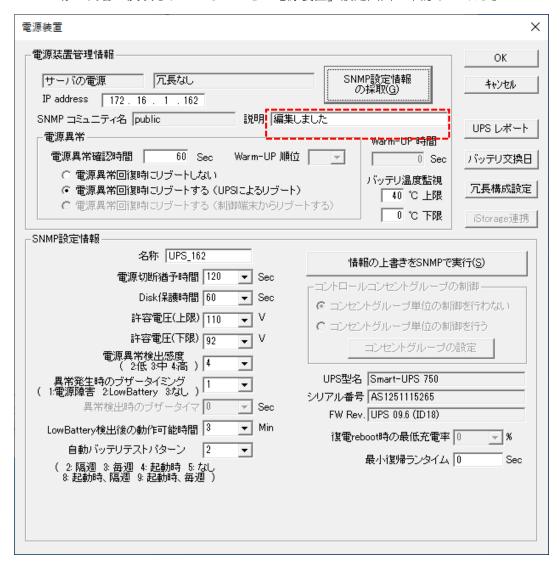


#### (4) 設定値が正しく登録されたことの確認

ESMPRO/AC の AC Management Console を起動してください。AMC ツリー設定変更を行った「UPS\_162」のアイコンをダブルクリックまたはマウスの右ボタンメニュー「登録情報編集」で設定画面を出力します。

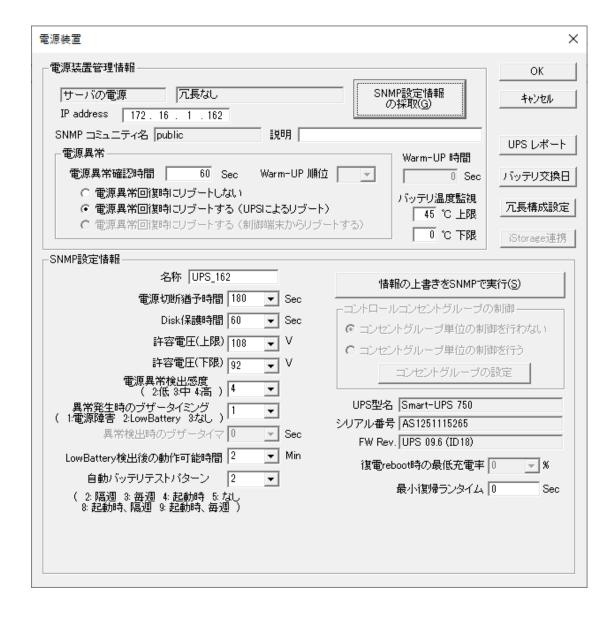
#### 【設定変更後】

XML の修正内容が反映されていることを「電源装置」設定画面で確認してください





#### 【設定変更前】



#### 5.2 イベントトリガーアクション

イベントトリガーアクションの利用方法として、以下の例について例示します。

- 例① ESMPRO/ServerManager が受信したアラートをメール通報する
- 例② ESMPRO/ServerManager が受信したアラートを Microsoft Teams 通報する

概要を以下に説明します。

#### 5.2.1 例① ESMPRO/ServerManager が受信したアラートをメール通報する

ESMPRO/ServerManager が受信した重要度が異常のアラートをメール通報する

例として、NEC サイトで Web 公開されている本機能の設定ファイルの雛形として使用可能な設定テンプレートファイルを利用する場合の手順を説明します。

手順の流れは以下のとおりです。

(1)必要なソフトウェアの確認

Û

(2) ESMPRO/ServerManager のメール通報設定

Û

(3) 設定テンプレートファイルのダウンロード

Ú

(4)設定ファイルの編集

Û

(5) 設定ファイルの登録

Û

(6) 正しく設定されたことの確認

#### (1) 必要なソフトウェアの確認

ESMPRO/ServerManager と同じ装置に WebSAM AlertManager Ver4.3 以降がインストールされているか確認します。WebSAM AlertManager のライセンスは必要ありません。

メール通報には、別途、SMTP プロトコルに対応するメールサーバが必要です。



# (2) ESMPRO/ServerManager のメール通報設定

ESMPRO/ServerManager が受信したアラートを、メールを使用して通報する場合に必要な設定を行います。



手順の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 18 章 イベントトリガーアクシ ョンのセットアップ 18.2 メール通報設定 | を参照してください。

# (3) 設定テンプレートファイルのダウンロード

例として、以下の NEC サイトから、異常イベントを抽出した設定テンプレートファイル(EvtTrigSet\_異常イ ベント.csv)をダウンロードします。

【ESMPRO/ServerManager Ver.7】イベントトリガーアクション 設定テンプレートファイル https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3170102743



#### (4) 設定ファイルの編集

上記でダウンロードした設定テンプレートファイルを編集します。 通報するイベント毎に通報先のメールアドレスやサブジェクトを設定ファイルに記述します。

例として、各イベントのメール通報設定で以下の設定値を使用します。

項目名	設定値
メールアドレス(メール通報)	test@example.com
サブジェクト(メール通報)	メール通報テスト

設定項目は以下の順番に記述します。

\_\_\_\_\_\_

ソース名,イベント ID,メールアドレス(メール通報),サブジェクト(メール通報),WebhookURL(Microsoft Teams 通報),サブジェクト(Microsoft Teams 通報)

-----

設定ファイルの記載方法の詳細は「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 18 章 イベントトリガーアクションのセットアップ 18.4 設定ファイルの編集 | を参照してください。

### 【編集例】(赤字が更新箇所)

ESMFSService,C00403E8,test@example.com,メール通報テスト,, ESMStorageService,C0040450,test@example.com,メール通報テスト,, ESMNVMeMonitor,C00403E9,test@example.com,メール通報テスト,, ...

#### (5) 設定ファイルの登録

編集した設定ファイルを ESMPRO/ServerManager ヘアップロードし、設定ファイルを登録します。



詳細は「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 18 章 イベントトリガーアクションのセットアップ 18.5 設定ファイルの登録」を参照してください。



#### (6) 正しく設定されたことの確認

設定ファイルの登録後、設定ファイルに記載されたイベントを ESMPRO/ServerManager が受信した場合、 設定ファイルに記載したイベントに対応する通報先にメール通報が行われます。

ESMPRO/ServerAgent、または ESMPRO/ServerAgentService のイベントログ監視(Windows)や Syslog 監視(Linux)機能を使用して通報テストを行うことにより、メール通報機能について確認が行えます。 通報テストの詳細は「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 付録 I ESMPRO/ServerAgent、または ESMPRO/ServerAgentService のイベントログ監視(Windows)や Syslog 監視(Linux)機能を使用して通報テストを実行する手順」を参照してください。



# 5.2.2 例② ESMPRO/ServerManager が受信したアラートを Microsoft Teams 通報する

ESMPRO/ServerManager が受信した重要度が異常のアラートを Microsoft Teams 通報する

例として、NEC サイトで Web 公開されている本機能の設定ファイルの雛形として使用可能な設定テンプレー トファイルを利用する場合の手順を説明します。

手順の流れは以下のとおりです。

(1)必要なソフトウェアの確認

(2) ESMPRO/ServerManager の Microsoft Teams 通報設定

(3) 設定テンプレートファイルのダウンロード

(4)設定ファイルの編集

Û

(5)設定ファイルの登録

(6) 正しく設定されたことの確認

# (1) 必要なソフトウェアの確認

ESMPRO/ServerManager と同じ装置に WebSAM AlertManager Ver4.3 以降がインストールされているか確 認します。WebSAM AlertManager のライセンスは必要ありません。



# (2) ESMPRO/ServerManager の Microsoft Teams 通報設定

ESMPRO/ServerManager が受信したアラートを、Microsoft Teams のチームのチャネルへ通報する場合に 必要な設定を行います。



手順の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 18 章 イベントトリガーアクシ ョンのセットアップ 18.3 Microsoft Teams 通報設定」を参照してください。

# (3) 設定テンプレートファイルのダウンロード

以下の NEC サイトから、異常イベントを抽出した設定テンプレートファイル (EvtTrigSet\_異常イベント.csv) をダウンロードします。

【ESMPRO/ServerManager Ver.7】イベントトリガーアクション 設定テンプレートファイル https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3170102743



#### (4) 設定ファイルの編集

上記でダウンロードした設定テンプレートファイルを編集します。

通報するイベント毎に連携する Microsoft Teams の Webhook URL やサブジェクトを設定ファイルに記述し ます。

Webhook URL については「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 18 章 イベントトリ ガーアクションのセットアップ 18.7 Microsoft Teams 受信 Webhook の作成と削除」を参照してください。

例として、各イベントの Microsoft Teams 通報設定で以下の設定値を使用します。

項目名	設定値
Webhook URL(Microsoft Teams 通報)	https:// <microsoft teams="" url="" webhook="" の=""></microsoft>
サブジェクト(Microsoft Teams 通報)	Teams 通報テスト

設定項目は以下の順番に記述します。

ソース名,イベント ID,メールアドレス(メール通報),サブジェクト(メール通報),WebhookURL(Microsoft Teams 通報),サブジェクト(Microsoft Teams 通報)

各項目や設定フォーマット等の詳細は「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 18 章 イ ベントトリガーアクションのセットアップ 18.4 設定ファイルの編集」を参照してください。

#### 【編集例】(赤字が更新箇所)

ESMFSService,C00403E8,,,https://<Microsoft Teams の Webhook URL>,Teams 通報テスト ESMStorageService,C0040450...https://<Microsoft Teams の Webhook URL>,Teams 通報テスト ESMNVMeMonitor,C00403E9,,,https://<Microsoft Teams の Webhook URL>,Teams 通報テスト

#### (5) 設定ファイルの登録

編集した設定ファイルを ESMPRO/ServerManager ヘアップロードし、設定ファイルを登録します。



詳細は「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 18 章 イベントトリガーアクションのセ ットアップ 18.5 設定ファイルの登録」を参照してください。



# (6) 設定値が正しく登録されたことの確認

設定ファイルの登録後、設定ファイルに記載されたイベントを ESMPRO/ServerManager が受信した場合、 設定ファイルに記載したイベントに対応する通報先に Microsoft Teams 通報が行われます。

ESMPRO/ServerAgent、または ESMPRO/ServerAgentService のイベントログ監視(Windows)や Syslog 監視(Linux)機能を使用して通報テストを行うことにより、Microsoft Teams 通報機能について確認が行えます。 通報テストの詳細は「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 付録 I ESMPRO/ServerAgent、または ESMPRO/ServerAgentService のイベントログ監視(Windows)や Syslog 監視(Linux)機能を使用して通報テストを実行する手順」を参照してください。



# 5.3 クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス

クローズド環境向けサーバ診断カルテサービスの利用方法として、以下の例について例示します。

#### 例① 1か月分のサーバ診断カルテを作成する

概要を以下に説明します。

#### 5.3.1 例① 1か月分のサーバ診断カルテを作成する

インターネットに非接続の管理対象サーバ(Windows)1台の1か月分のサーバ診断カルテを作成する

例として管理対象サーバ (Windows) 及び管理サーバがインターネットに非接続かつ、エクスプレス通報サー ビスを開局していない環境でサーバ診断カルテを作成する手順を説明します。

手順の流れは以下のとおりです。

- (1)サーバ診断カルテモジュールのセットアップ
- (2) サーバからカルテデータの取得
- (3) アップロード用カルテデータファイルの作成
- (4) アップロード用カルテデータファイルのアップロード
- (5) サーバ診断カルテのダウンロード

#### 5.3.1.1 (1) サーバ診断カルテモジュールのセットアップ

管理対象サーバ(Windows)に対してクローズド環境向けサーバ診断カルテサービスを使用するには、サー バ診断カルテモジュールをインストールしているサーバが以下の条件を満たす必要があります。

- ・ NEC ログ収集サービスがインストールされている
- ・ サーバ診断カルテモジュールの利用許諾に同意している
- ・ 管理対象サーバで NEC ログ通報サービス (NEC Log Reporting Service)が起動していない

本作業は以下の手順で行います。

#### 1) NEC ログ収集サービスのインストール

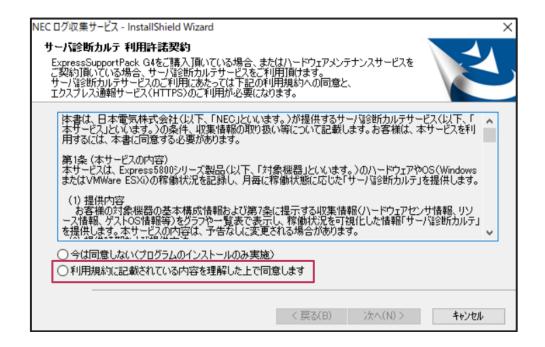
「サーバ診断カルテ 利用許諾契約」に同意するため、サーバ診断カルテモジュールが既にインストールされ ている場合は、サーバ診断カルテモジュールをアンインストール後、再インストールを行います。

「サーバ診断カルテ (Windows 対応版)」 及びセットアップガイドは以下サイトからダウンロードできます。 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010106809



#### 2)「サーバ診断カルテ 利用許諾契約」に同意

サーバ診断カルテモジュールのインストール時に「サーバ診断カルテ 利用許諾契約」に同意します。

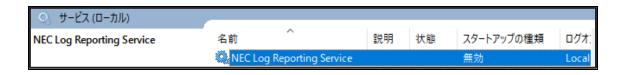


### 3) NEC ログ通報サービスの停止

サーバ診断カルテモジュールをインストール後、「コントロールパネル」の「管理ツール」より 「サービス」をクリックします。

以下のサービスを停止し、スタートアップの種類を手動または無効に設定します。

#### [NEC ログ通報サービス (NEC Log Reporting Service)]



手順の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 20 章 クローズド環境向けサーバ 診断カルテサービスのセットアップ 20.2.1 サーバ診断カルテモジュールのセットアップ」を参照してください。



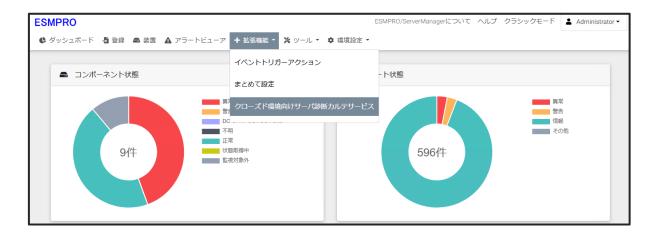
#### 5.3.1.2 (2) サーバからカルテデータの取得

サーバからカルテデータ(サーバのログ)を取得し、ESMPRO/ServerManager 上に蓄積させます。 以下の手順で操作を行います。

#### 1) 共通設定

カルテデータの保存に関する設定、アップロード用カルテデータファイルに関する設定を行います。

ESMPRO/ServerManager にログインし、「拡張機能 | > 「クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス | をクリックします。



「クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス」画面から「設定」ボタンをクリックします。





各設定値を入力し、「適用」ボタンをクリックします。 例として以下の設定を適用します。



項目名	説明
カルテデータ保存期間	ESMPRO/ServerManager で保存するカルテデータの保存期間を入力
	(保存期間は 0 日または 7~120 日の間で指定可能)
カルテデータの保存先	ESMPRO/ServerManager で保存するカルテデータの保存先を入力
	既定值:
	<esmpro servermanager="" インストール先="">¥ESMSM¥KarteData</esmpro>
PP・サポートサービス	ESMPRO/ServerManager 拡張機能 マネージャライセンスまたは
のサポートID	ESMPRO/ServerManager 拡張機能 ノードライセンスのサポート契約が含まれ
	るサポート ID を入力
サーバ診断カルテファ	アップロード用カルテデータファイルを元に作成されるサーバ診断カルテファ
イル用パスワード	イル(ZIP 形式)を解凍するためのパスワードを入力
メインメールアドレス	アップロード用カルテデータファイルのアップロード URL および、作成された
	サーバ診断カルテファイル(ZIP 形式)のダウンロード URL を通知するメール
	アドレスを入力
	※複数登録は不可
通知用メールアドレス	作成されたサーバ診断カルテファイル(ZIP 形式)のダウンロード URL を通知
	するメールアドレスを入力
	※最大5つまで登録可能

手順の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 20 章 クローズド環境向けサーバ 診断カルテサービスのセットアップ 20.2.8 共通設定」を参照してください。



#### 2) サーバの登録

ESMPRO/ServerManager に登録済みのサーバを、クローズド環境向けサーバ診断カルテサービスの使用対 象として登録します。

「クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス」画面から「サーバ登録」をクリックします。



カルテ作成向けのデータを蓄積するサーバを選択し、「次へ」ボタンをクリックしますます。



希望の取得スケジュールを設定し、「登録」をクリックします。





登録のメッセージが表示され、登録サーバ一覧にコンポーネントが表示されたら登録完了です。



手順の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 20 章 クローズド環境向けサーバ 診断カルテサービスのセットアップ 20.2.6 サーバの登録」を参照してください。



#### 3) カルテデータの取得を開始

カルテデータの取得を開始し、NEC ログ収集サービスが収集したサーバのログを ESMPRO/ServerManager 内にカルテデータとして保存します。

「クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス」画面からサーバを選択して「取得開始」ボタンをクリックします。



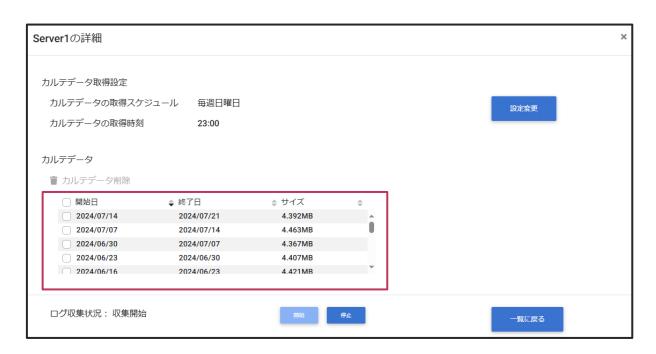
カルテデータの取得を開始すると「取得状況」に「取得開始」が表示されます。



手順の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 20 章 クローズド環境向けサーバ 診断カルテサービスのセットアップ 20.2.11 カルテデータの取得を開始/停止する」を参照してください。



カルテデータの取得状況は、「クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス」画面でサーバをクリックすると表示される「サーバの詳細」画面で確認できます。



カルテデータの取得スケジュール経過後に、カルテデータ欄にカルテデータが表示されていることを確認します。

サーバの詳細画面の詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 20 章 クローズド環境向けサーバ診断カルテサービスのセットアップ 20.2.12 サーバの詳細」を参照してください。

※本画面でカルテデータが表示されない場合、またはカルテ作成対象期間のカルテデータが表示されない場合はサーバ診断カルテの作成はできません。



# 5.3.1.3 (3) アップロード用カルテデータファイルの作成

カルテデータの取得後に、NEC サイト (クローズド環境向けサーバ診断カルテサービスサイト) にアップロードするアップロード用カルテデータファイルの作成を行います。

「クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス」画面からサーバを選択して、「アップロード用カルテデータファイル作成」ボタンをクリックします。



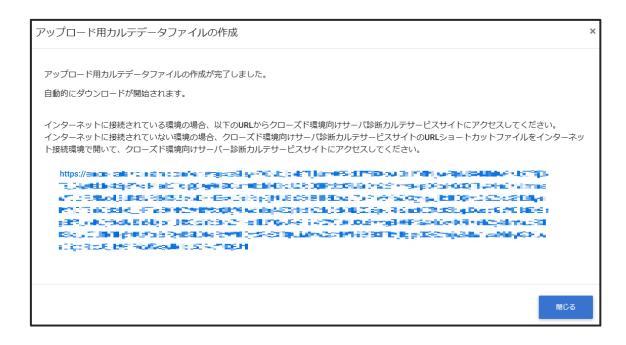
「アップロード用カルテデータファイルの作成」画面で各設定を入力し、「作成」ボタンをクリックします。 ※共通設定で設定済みの項目は本画面を開いた際に自動で入力されます。

例として、 $6/1\sim6/30$  の期間のカルテを作成する設定を入力します。

アップロード用カルテデータファイルの作成				×
アップロード用力ルテデータファイルの作成設定				
PP・サポートサービスのサポートID [必須]				
サーバ診断カルテファイル用パスワード [必須]		3		
メインメールアドレス [必須]				
通知用メールアドレス		福集	削除	
		油油		
			共通設定に係	<b>联</b> 存
カルテ作成対象期間 [ <mark>必須]</mark>	2024/06/01 - 2024/06/30	期間指定		
			キャンセル	作成



作成が完了すると完了画面が表示され、ESMPRO/ServerManager を操作している端末にアップロード用カ ルテデータファイルおよび、クローズド環境向けサーバ診断カルテサービスサイトの URL ショートカット ファイルがダウンロードされます。



ダウンロード先フォルダを開き、「アップロード用カルテデータファイル」と「クローズド環境向けサーバ診 断カルテサービスサイトの URL ショートカットファイルトの2点が格納されていることを確認します



※アップロード用カルテデータファイルおよび URL ショートカットファイルのファイル命名規則は以下のとおりです。

#### 「アップロード用カルテデータファイル」

<ESMPRO/ServerManager が生成する GUID>\_<YYYYMMDDHHSS>.zip

#### [URL ショートカットファイル]

<ESMPRO/ServerManager が生成する GUID>\_<YYYYMMDDHHSS>.url

※この2点のファイルはセットで取り扱う必要があります。

詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第20章 クローズド環境向けサーバ診断カ ルテサービスのセットアップ 20.2.13 アップロード用カルテデータファイルの作成」を参照してください。



#### 5.3.1.4 (4) アップロード用カルテデータファイルのアップロード

「アップロード用カルテデータファイル」をクローズド環境向けサーバ診断カルテサービスサイトにアップロードします。

「アップロード用カルテデータファイル」と「クローズド環境向けサーバ診断カルテサービスサイトの URLショートカットファイル」をインターネット接続可能な端末にコピーし、「クローズド環境向けサーバ診断カルテサービスサイトの URL ショートカットファイル」を起動します。

「ユーザーが人間であることを確認する」が表示されたら、「開始」ボタンをクリックし、セキュリティパズルを解いてください。

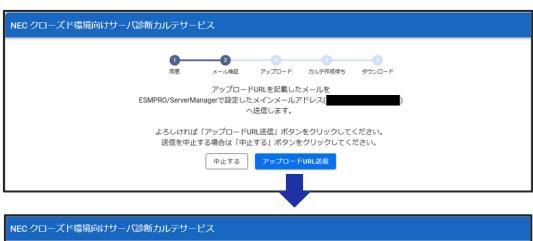


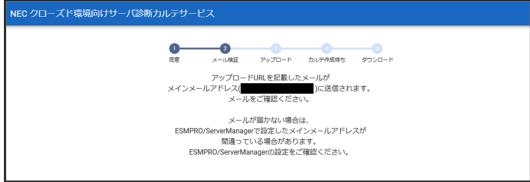
セキュリティパズル成功後、クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス 利用規約画面に遷移します。 利用規約を確認し「同意する」ボタンをクリックします。





5.3.1.3(3)アップロード用カルテデータファイルの作成で指定したメインメールアドレスが表示されます。 メールアドレスが正しいことを確認し、「アップロード URL 送信」ボタンをクリックします。 メインメールアドレス宛にアップロード URL が送信されます。





アップロード用 URL 通知のメールが届いたら、「アップロード用カルテデータファイルアップロード先リン クトをクリックし、クローズド環境向けサーバ診断カルテサービスサイトにアクセスします。

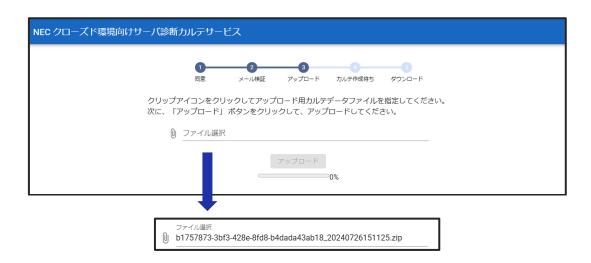


※アップロード URL メールは、

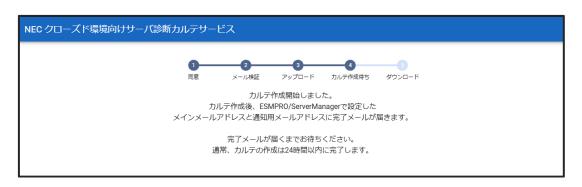
from メールアドレス: noreply@mail.karte.esmpro-service.com subject: [NEC クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス] アップロード用 URL 通知 で送信されます。



ファイル選択で「アップロード用カルテデータファイル」を指定しアップロードします。



アップロードが完了するとサーバ診断カルテの作成が開始されます。通常、24 時間以内に作成完了します。 また、メインメールアドレスに受付完了のメールが送信されます。





※受付完了メールは、

from メールアドレス: noreplay@mail.karte.esmpro-service.com subject: [NEC クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス] アップロード用カルテデータファイル 受付通知 で送信されます。

詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver.7 セットアップガイド 第20章 クローズド環境向けサーバ診断カ ルテサービスのセットアップ 20.3 サーバ診断カルテ作成の流れ」を参照してください。

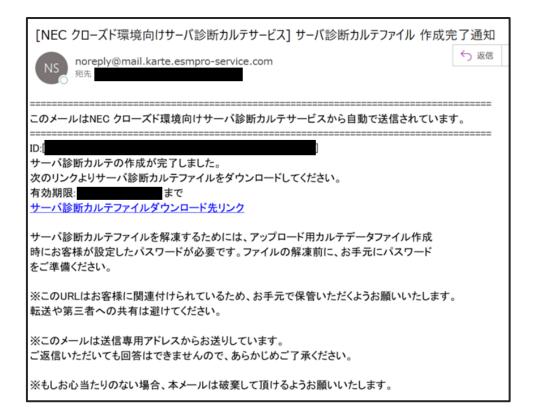


#### (5) サーバ診断カルテのダウンロード 5.3.1.5

クローズド環境向けサーバ診断カルテサービスサイトにより作成されたサーバ診断カルテをダウンロードし ます。

サーバ診断カルテの作成が完了すると、5.3.1.3(3)アップロード用カルテデータファイルの作成で指定し たメインメールアドレスと通知用メールアドレスにサーバ診断カルテのダウンロード先リンクが記載された メールが送付されます。

メールの「サーバ診断カルテファイルダウンロード先リンク」をクリックし、クローズド環境向けサーバ診 断カルテサービスサイトにアクセスします。



※作成完了メールは、

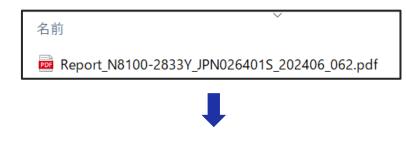
from メールアドレス: noreply@mail.karte.esmpro-service.com subject: [NEC クローズド環境向けサーバ診断カルテサービス] サーバ診断カルテファイル 作成完了通知 で送信されます。

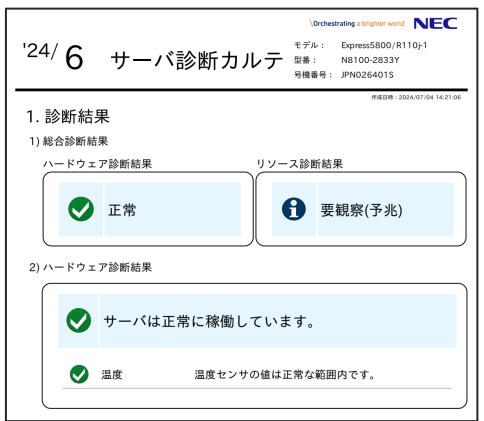


「サーバ診断カルテダウンロード」ボタンをクリックしサーバ診断カルテをダウンロードします。



ダウンロードしたファイルを、5.3.1.3(3)アップロード用カルテデータファイルの作成で指定したサーバ 診断カルテファイル用パスワードで解凍し、サーバ診断カルテを確認します。





※表示は一例です

詳細は、「ESMPRO/ServerManager Ver. 7 セットアップガイド 第 20 章 クローズド環境向けサーバ診断カルテサービスのセットアップ 20.3.5 サーバ診断カルテのダウンロード」を参照してください。



# 6. 便利な使い方

# (1) 設定テンプレートファイルの活用

[まとめて設定]機能、イベントトリガーアクション機能の設定ファイルの雛型として使用可能な設定テンプレートファイルを各種ご用意しています。以下の NEC サイトからダウンロードできますので設定ファイルの編集時にご利用ください。

【ESMPRO/ServerManager Ver.7】まとめて設定 設定テンプレートファイル https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3170102744

【ESMPRO/ServerManager Ver.7】イベントトリガーアクション 設定テンプレートファイル https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3170102743



# 7. 改版履歴

版数	発行日	改版内容
第1版	2024年3月13日	初版発行
第2版	2024年8月16日	クローズド環境向けサーバ診断カルテサービスの説明を追加